

# 横尾忠則 感応する風景 LANDSCAPE PAINTINGS



1. 《霧島II》(部分) 1974年 兵庫県立美術館蔵

2013年10月1日(火) - 12月1日(日)

会期中無休

## 開催趣旨

神戸ビエンナーレに兵庫県立美術館が参加して3度目のこの度、横尾忠則の個展「横尾忠則 感応する風景 Yokoo Tadanori : Landscape Paintings」を開催します。同じく神戸ビエンナーレ参加の横尾忠則現代美術館で開催される「肖像図鑑 HUMAN ICONS」と併せて、ダブル個展というまたとない機会となります。

本展覧会は、横尾忠則の多岐にわたる作品の中から風景画に焦点をあて、そのフレームの中でこそあらわれる横尾芸術の特徴を「日本原景旅行」「原風景」「故郷」「Y字路」の4つの章で捉えようとするものです。それぞれの章は、ゆるやかにつながりながら、横尾にとっての風景画を捉えるヒントになります（各章の解説をご覧ください）。

風景画は、なによりも横尾の想像力やヴィジョンの受け皿であり、多様な表現が試みられる舞台です。風景モチーフの選択とともに、その表現の展開こそ、彼の風景画の魅力といえるでしょう。

その多様で豊穡な世界を、兵庫県立美術館の所蔵品及び、横尾忠則現代美術館の所蔵品と寄託品、そして今回のための新作をあわせた85点によってご紹介します。

## 会期・観覧料等

2013（平成25）年10月1日（火）－12月1日（日）※会期中無休

開館時間：午前10時－午後6時 ※入場は閉館の30分前まで

会場：兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階

主催：兵庫県立美術館・神戸ビエンナーレ組織委員会

後援：兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会

協力：ホテルオークラ神戸

個別鑑賞券：大人600〈480〉円、大学生450〈360〉円、65歳以上300〈240〉円、高校生以下無料 ※神戸ビエンナーレ2013のセット券につきましては、6頁をご参照ください。

※〈 〉内は20名以上の団体割引料金。

※障がいのある方とその介護の方（1名）は無料です。

※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参ください。

※神戸ビエンナーレ2013の会期中、当展の個別鑑賞券（有料チケット）のご提示で、横尾忠則現代美術館の「横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS」が 団体割引でご覧いただけます。

※神戸ビエンナーレ2013の会期中、有料チケット（セット券・当展の個別鑑賞券）をご提示で、兵庫県立美術館コレクション展が無料で、特別展が団体割引でご覧いただけます。

## 本展のみどころ

- ① 絵画の最もポピュラーなジャンルである「風景」が切り口。
- ② 「日本原景旅行」シリーズは、これまでの展覧会で最多数を展示。取材で全国を旅した際の貴重な記録写真も展示。
- ③ 十数年間の「Y字路」作品を回顧するとともに、本展のための新作で「Y字路」絵画の最先端にも触れるチャンス。

## 横尾 忠則 Yokoo Tadanori

- 1936 兵庫県西脇市に生まれる
- 1956 神戸新聞社に入社（～1959）
- 1969 第6回パリ青年ビエンナーレ版画部門グランプリ
- 1972 ニューヨーク近代美術館にて個展
- 1974 第5回ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ金賞
- 1985 第13回パリ・ビエンナーレ招待出品  
第18回サンパウロ・ビエンナーレ招待出品
- 1986 パリ、ボンビドーウ・センター  
「前衛芸術の日本1910-1970」に出品
- 1993 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレの企画展に出品
- 1994 横浜美術館／グッゲンハイム美術館ソーホー  
「戦後日本の前衛美術」に出品
- 1997 兵庫県立近代美術館／神奈川県立近代美術館にて個展
- 2000 ニューヨークADC 殿堂入り
- 2001 富山県立近代美術館にて個展／原美術館にて個展  
紫綬褒章を受章
- 2002 東京都現代美術館／広島市現代美術館にて個展
- 2003 京都国立近代美術館にて個展
- 2005 熊本市現代美術館にて個展
- 2006 パリ、カルティエ現代美術財団にて個展
- 2008 世田谷美術館／兵庫県立美術館にて個展  
小説『ぶるうらんど』（『文學界』連載）で  
第36回泉鏡花文学賞を受賞
- 2009 金沢21世紀美術館にて個展
- 2010 国立国際美術館にて個展
- 2011 岡山県立美術館／高知県立美術館にて個展  
旭日小綬章を受章、朝日賞を受賞
- 2012 横尾忠則現代美術館開館  
ニューヨーク近代美術館「東京1955-1970」に出品

## 展覧会構成

### 1 日本原景旅行－北海道から九州までの風景画

横尾忠則は、1972年から74年にかけて、雑誌の企画で日本各地を取  
 材して風景画を描きました。この「日本原景旅行」と題するシリーズ  
 を取りあげます。

取材したのは、北海道、東北、日光・房総、東海道、近畿、九州、四国、山陰・  
 北陸・中部と、広く日本を網羅しています。毎回1～3点描かれた風  
 景画は計61点にのぼります。現段階で実作を確認できるのは51点と、  
 その中の「富士」と同じ構図の関連作品1点であり、今回はそのうちの  
 47点を展示します。

横尾は場所に応じて自身のスタイルに変化を付け、イラスト的な感覚  
 を活かしたり、動植物や、当時関心の高かった超自然的要素を名勝の  
 中に組み込んだりと、様々な試みを行っています。

(47点)



2. 《大沼と駒ヶ岳》1973年 兵庫県立美術館蔵



3. 《日南海岸I》1974年 兵庫県立美術館蔵

### 2 原風景－滝を描いた作品など

横尾にとっての「原風景」は、幼少年時代を過ごした故郷・西脇での  
 体験に基づいています。西脇は、加古川と杉原川が交わる、いわば水  
 のY字路を内包した町です。彼の描いた西脇のY字路も、もともと川  
 に沿った道と町の暮盤の目の道とが交差してできた場合が多く、川と  
 の結びつきが深いのです（Y字路のもうひとつのタイプは、山沿いの二  
 股道）。

水の風景のなかでもとくに滝は、重要なモチーフです。滝は、Y字路  
 以前では最も長期にわたる風景モチーフで、横尾は1988年から数年間、  
 スタイルを変えつつ、集中的に描いています。

このほか、水を湛えた洞窟や森の中といった、横尾にとって原風景と  
 いえるものもいくつか紹介します。

(9点)



4. 《決闘》1993年 横尾忠則現代美術館蔵



5. 《水のある赤い風景》1996年 作家蔵

### 3 故郷—物語性のある風景画と、故郷のY字路

横尾が故郷である西脇の風景を描いた早い例は、画家として本格的な活動を始めてまもない1984年頃ですが、内容の上で重要になるのは、もう少し後の1990年代以降、自身の少年時代を題材に取り上げるようになってからでしょう。想い出や旧友を描く上で、それにまつわる西脇の風景も伴うからです。

一方、自分の想い出から切り離された、いまの西脇の風景からはY字路の絵画も制作されるようになりました。

故郷の風景を基にしながらも、記憶の観点からは対照的な二つのタイプの風景画をこのコーナーで並置します。

(13点)



6. 《暗夜光路N市-1》 2000年 横尾忠則現代美術館蔵



7. 《友の不在を思う》 2003年 横尾忠則現代美術館蔵

### 4 Y字路—代表的なY字路作品

2000年から現在まで続くY字路絵画は、いまや横尾のライフ・ワークといってよいでしょう。それは、たんに長期の制作というだけでなく、様々な表現の実験が行われる巨大な<sup>るつぼ</sup>坩堝となったからです。

写実的な描写の初期から、やがて、絵画的な表現を深めていきました。また、「暗夜光路」と題したように、真夜中だった光景に、2002年頃から日中や黄昏時も現れました。同時に、それまで無人の風景に、人物が登場します。さらに、2004年からは、いくつかの美術館でY字路絵画の公開制作を行っています。横尾は、アトリエとは異なる場所と雰囲気の中で、自身の表現に新しい可能性をもたらしそうとしたのです。ここでは、大作を中心とした十数点によってY字路絵画のスタイルや表現の展開を辿ります。

(16点)



8. 《下田幻想》 2007年 作家蔵



9. 《濡れた町》 2008年 作家蔵

## 関連イベント

### 学芸員によるギャラリー・トーク

10月12日(土)、10月26日(土)、11月23日(土・祝)

いずれも午後4時から約45分

会場入口に集合(要観覧券)

### アーティスト・トーク

講師：横尾忠則

11月3日(日・祝) 午後1時30分から約90分

ミュージアムホールにて 聴講無料(要整理券・定員250名)

※当日午前10時からホワイエにて整理券配付

## 横尾忠則現代美術館 同時開催

### 横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS

2013年9月28日(土) - 2014年1月5日(日)

休館日：9月30日(月)、12月2日(月)、12月9日(月)、12月16日(月)、

12月24日(火)、年末年始(12月30日~1月1日)

開館時間：午前10時~午後6時(金・土曜日は午後8時まで)

※入場は閉館の30分前まで

会場：横尾忠則現代美術館

俳優、作家、ミュージシャンなど、時代を彩る様々なスターたちを描いてきた横尾忠則。多彩なポートレイトの数々は、その華やかな交流の一端を垣間見せてくれます。横尾は彼らを作品として描き出すと同時に、その多くとプライベートな関係を築いてきました。描かれた人物の大半は、写真や絵画など既存のイメージの流用あるいは模写でありながら、そこに横尾自身のイマジネーションや私的な物語が加わることで、人物は特異なアイコンに昇華されていると言えるでしょう。

本展では、様々なメディアを横断した膨大な仕事の中から、1960年代から今日に至るまでのポートレイト作品に焦点を当て、絵画を中心に、イラストレーション、デザイン原稿、ポスター、版画などを展示します。さらに今回、数年来制作が続けられてきた最新作、日本近代文学者の肖像シリーズ約222点と、その制作の契機となった瀬戸内寂聴『奇縁まんだら』挿画を合わせて展示し、横尾によるポートレイト制作の新たな展開を紹介します。

## 同時開催の展覧会

### 生誕130年 橋本関雪展

9月14日(土) - 10月20日(日)

会場：兵庫県立美術館 企画展示室

### 昭和モダン 絵画と文学1926-1936

11月2日(土) - 12月29日(日)

会場：兵庫県立美術館 企画展示室

### チャンネル4 薄白色の余韻 小林且典展

11月2日(土) - 12月1日(日)

会場：兵庫県立美術館 アトリエ1

### コレクション展II

特集 新収蔵品紹介 「信濃橋画廊コレクション」を中心に

小企画 美術の中のかたち—手でみる造形

「近いかたち、遠いかたち—岡普司・重松あゆみ・中西學—」

7月6日(土) - 11月10日(日)

会場：兵庫県立美術館 常設展示室(1階・2階)

### コレクション展III

特集 コレクション名品選 「美術のはじまる場所」(仮題)

小企画 奥田善巳展

11月23日(土・祝) - 2014年3月9日(日)

会場：兵庫県立美術館 常設展示室(1階・2階)

## 関連事業 ※詳細はHPなどでご確認ください。

### 開館1周年記念 対談 横尾忠則 × 瀬戸内寂聴

11月2日(土) 午後2時から

※聴講無料

### 細野晴臣ライブ

出演：細野晴臣ほか

12月1日(日) 午後7時から

※有料・要予約

### みんなで作る大きな肖像—模写して、つなげる

11月23日(土・祝) 午後1時から

対象：小学校4年生以上(一般の参加も可)

定員：25名程度

※無料、要予約

### キュレーターズ・トーク

10月12日(土)、11月16日(土)、12月14日(土)

午後2時から約45分

※聴講無料

## 広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

## お問い合わせ先

### 兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

代表 TEL: 078-262-0901 FAX: 078-262-0903

### 企画内容に関すること

担当学芸員: 出原均・岡本弘毅

TEL: 078-262-0909 FAX: 078-262-0913

### 取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905 FAX: 078-262-0903

## 交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分

JR神戸線灘駅から南に徒歩約10分

阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分

神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場: 乗用車80台収容・有料

\*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

\*団体バスでお越しの場合は、バス待機所の予約をお願いします



## 2013年10月1日(火) - 12月1日(日)

神戸ビエンナーレは、神戸が培ってきた多様な文化力と先取性を生かし、現在社会を彩るさまざまな文化活動に光を当て、これまでのアートの概念を超えた新しい表現や価値の誕生とともに、都市の魅力の創生を謳ってきました。

さまざまな人や文化がアートで「出会い(2007)」、「わ(2009)」となり、「きら(2011)」めき始めた神戸が、これまでの枠組みや価値観を切り裂く力となり、色とりどりに花咲く明日を信じ、第4回を迎える神戸ビエンナーレ2013のテーマは、『さく"saku"』とします。

一人一人が、切り裂かれた世界の向こうに何を見るのか。私たちはそこに咲く小さくとも夢ある一つ一つの花々に多くの期待を込めています。

## 神戸ビエンナーレ2013のお問い合わせ先

### 神戸ビエンナーレ組織委員会事務局

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 神戸市役所1号館17階

代表 TEL: 078-322-6490

### コンペティション・イベントに関すること

TEL: 078-322-6598 FAX: 078-322-6136

E-MAIL: kb\_office@kobe-biennale.jp

## 神戸ビエンナーレ全会場入場券と乗船券のセット券:

大人1,800円(1,500円)、65歳以上1,500円

メリケンパーク会場の入場券、指定する神戸港遊覧船[かもめりあ発着便]乗船券、兵庫県立美術館、横尾忠則現代美術館、BBプラザ美術館の入場券がセットになったお得なチケット。

※( )内は、前売料金。前売券は9月30日(月)まで販売します。

※高校生以下、障がいのある方とその介護の方(1名)は無料。

(乗船券は別途必要)

※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参ください。

※各会場とも、会期中1回限り入場可能。

※神戸港遊覧船[かもめりあ発着便]乗船券は、ファンタジー号、ロイヤルプリンセス号、オーシャンプリンセス号のいずれかに会期中1回限りで乗船可能です。

※メリケンパーク会場は、10/12(土)、13(日)、14(月・祝)は無料開放いたします。

### 当日券一覧

	セット券	メリケンパーク (乗船券付き)	兵庫県立 美術館	BBプラザ	横尾忠則 現代美術館
大人	1,800円	1,400円	600円	300円	600円
大学生			450円	—	450円
シルバー※	1,500円	1,000円	300円	150円	300円

※シルバーは65歳以上